



みどりの街づくり賞

港区環境リサイクル支援部 環境課
港区芝公園1-5-25 / 電話：03-3578-2330

景観街づくり賞・区民景観セレクション（港区景観表彰）

港区街づくり支援部 都市計画課
港区芝公園1-5-25 / 電話：03-3578-2204

2018年10月発行
発行番号 30160-5611

港 区

みどりの街づくり賞
景観街づくり賞
区民景観セレクション

平成30(2018)年度 受賞施設等

・ 2018 Minato City ・



目次
Contents

・01・ 港区みどりの街づくり賞 受賞施設

日本交通公社ビル
銀泉新橋第2ビル
ホテルマイステイズプレミア赤坂
ザ・パークハウスグラン 南青山
ラ フォンテ 麻布十番

・06・ 審査会委員総評（港区みどりの街づくり賞）

・07・ 景観街づくり賞 受賞施設

住友不動産六本木グランドタワー 六本木グランドタワーレジデンス 六本木グランドプラザ
DLXビルディング

・09・ 景観街づくり賞奨励賞・特別賞 受賞施設等

日本酒造虎ノ門ビル / NS虎ノ門ビル
THE HARBOUR SHIBAURA
港区アドプト・プログラム

・11・ 区民景観セレクション 受賞景観

台場とその周辺 《グランプリ》
明治神宮外苑のイチョウ並木 《グランプリ》
烏森神社の参道
白金二丁目の樹木とお蔵のある邸宅の境界
けやき坂のイルミネーション
竹芝栈橋のボードウォーク
新芝運河に面したオープンテラス
レインボーブリッジから見るお台場方面
神明坂から見る石垣と東京タワー
保安寺の参道
旧台徳院霊廟惣門と東京タワー

・15・ 審査会委員総評（景観街づくり賞・区民景観セレクション）

港区みどりの街づくり賞とは

港区では、昭和54年度から建築計画に伴う緑化計画書の提出を義務付け、緑化の指導を行ってきました。緑豊かな都市づくりには、公共の緑とともに、民間施設の緑化が重要な役割を果たしています。

「港区みどりの街づくり賞」は、優れた緑化計画を行い、その緑地を維持している区民や事業者の皆さんを表彰し、地域緑化への協力を感謝を示すとともに、さらなる民間緑化の発展を願って、平成16年度に創設しました。

表彰の対象となる施設

原則として、前々年度に完了した建築計画に伴う緑化施設で、港区みどりを守る条例施行規則の緑化基準を満たしているもの。

選定基準

学識経験者、都市緑化に造詣の深い区民及び環境リサイクル支援部長で組織する選定審査会が、以下の選定基準を基に決定します。

- ① 周辺の景観と調和し、優れたデザインであること。
- ② 維持管理が適切に行われていること。
- ③ 自然環境の保護と再生に努めていること。
- ④ 建築物と植栽地がバランスよく配置されていること。
- ⑤ 既存樹木を活用していること。
- ⑥ あらゆる生きものが、相互に関わり合いながら生きられる生物多様性に配慮した植栽計画となっていること。
- ⑦ 在来植物を取り入れていること。
- ⑧ 地域社会とのつながりを持ち、地区への貢献度及びみどりの公開性が高いこと。
- ⑨ 先進的又は総合的にレベルの高い緑化技術を取り入れ、新しい緑の創出に創意工夫がなされていること。

賞の種類

みどりの街づくり賞 5点

詳細は毎年度選定審査会で決めています。

港区景観表彰とは

港区では、平成21年に港区景観条例を施行し、同年に港区景観計画を策定しました。これらの条例・計画に基づき、建築物の建築等の際に区との景観協議を義務付け、助言・指導を行っています。その一方で、良好な景観の形成に関して功績のあった施設等を表彰することで、広く景観に対する意識の向上を図ることを目的として、平成23年度に景観表彰制度を創設しました。

審査

港区景観審議会委員、港区景観アドバイザー等で構成する景観表彰選定審査会が書類・現地視察等に基づき審査を行い、受賞施設等を決定します。

景観街づくり賞・景観街づくり賞奨励賞

対象

区と景観協議を行った民間施設のうち、前々年度に完了報告書が提出されたもの

選定基準

- ① 周囲からの見え方に配慮があり、周辺の街並みと調和しているもの
- ② 建築物、植栽等がバランスよく配置されており、憩いと安らぎを創出しているもの
- ③ 地域特性を生かしており、まちの魅力の向上に貢献しているもの
- ④ 地域社会とのつながりを持ち、区民等への貢献が高いもの
- ⑤ 都市景観の創造に先導的な役割を果たしているもの

その他

特に優れていると認める施設を「景観街づくり賞」に、より一層の良好な景観形成を期待する施設を「景観街づくり賞奨励賞」に選定し、各受賞者に記念品を贈呈

景観街づくり賞特別賞

良好な景観の形成に功績のあった民間施設・民間活動で、区長が特に認めるもの

区民景観セレクション

対象

区民が誇り、愛着を持つ景観として区民等により応募されたもの

選定基準

- ① 地域性が感じられるもの
- ② 波及性があるもの
- ③ 発見性があるもの

その他

受賞した景観の中から、特に優れているものを「グランプリ」に選定し、その応募者に記念品を贈呈

港区みどりの街づくり賞受賞施設
日本交通公社ビル

- 所有者:公益財団法人日本交通公社
- 設計者:株式会社JTBアセットマネジメント
- 施工者:馬淵建設株式会社
造園:綿半ソリューションズ株式会社
- 所在地:南青山二丁目7番29号
- 施設用途:事務所、図書館 ●敷地面積:848.75㎡
- 緑化面積:95.31㎡ ●接道部緑化延長:9.9m
- 緑化面積率:11% ●接道部緑化率:65%



選定にあたっての評価コメント

この作品で最も目を引かれるのは、公道から建物をセットバックさせ、入口通路を2回鉤の手にして、距離をとり、中低木たちが入館者を温かく迎え入れようとする設計に好感もてる。茶庭の雰囲気と共通したものを感じさせてくれる。そこには新緑に始まって花が咲き、実をつけ、紅葉して落葉するといった1年間の自然のドラマを演じさせようとする意図に心惹かれ、また館の地下室からガラス越しに外のみどりが仰ぎ見えるのも、心和む空間づくりに好感もてる。

港区みどりの街づくり賞受賞施設
銀泉新橋第2ビル

- 所有者:銀泉株式会社
- 設計者:株式会社日建設計
- 施工者:株式会社竹中工務店 植栽工事:住友林業株式会社
- 所在地:新橋五丁目1番9号 ●施設用途:事務所、店舗
- 敷地面積:981.32㎡ ●緑化面積:145.56㎡
- 接道部緑化延長:58.17m ●緑化面積率:15% ●接道部緑化率:63%



選定にあたっての評価コメント

1階部分にスーパーマーケット、上部は業務ビルという形態ながら、積極的に緑化されていることで個性と魅力が上がった作品。一般的には商業店舗が地上階に設置される場合はお店がよく見えることが優先され緑化は、良くて中木が点々とあるぐらいで、通常は低木・地被類だけで構成されるが、四季の変化が感じられるボリュームある緑地が店舗、ビルの入口を彩り、失礼ながらいつものお店がずっと新鮮、いきいきと感じられる。



港区みどりの街づくり賞受賞施設
ホテルマイステイズ
プレミア赤坂

- 事業者: Aki特定目的会社
- 設計者: 株式会社IAO竹田設計 株式会社ランドスケープデザイン
- 施工者: 東急建設株式会社
- 所在地: 赤坂二丁目17番54号
- 施設用途: ホテル ●敷地面積: 2023.67㎡
- 緑化面積: 354.35㎡ ●接道部緑化延長: 72.73m
- 緑化面積率: 18% ●接道部緑化率: 52%



選定にあたっての評価コメント

敷地に対する緑化率は17~18%ではあるが、「垂直の庭」という壁面緑化をはじめ、多種多様な植栽が施されている。ここはホテルなので、パブリックな空間が建物内に貫入している。例えばエントランス部分はその典型だろう。この特徴は何よりも、来訪者のために屋内からの庭の眺めをいかに確保するか工夫をこらしていることと、植栽で屋内が暗くならないように手前に空間を確保していることだろう。

港区みどりの街づくり賞受賞施設
ザ・パークハウス
グラン 南青山

- 事業者: 三菱地所レジデンス株式会社 三菱倉庫株式会社 東京建物株式会社
- 設計者: 東急建設株式会社一級建築士事務所
- 施工者: 東急建設株式会社首都圏建築支店 石勝エクステリア
- 所在地: 南青山五丁目4番11号 ●施設用途: 共同住宅
- 敷地面積: 4716.7㎡ ●緑化面積: 560.88㎡
- 接道部緑化延長: 129.96m ●緑化面積率: 12%
- 接道部緑化率: 81%



選定にあたっての評価コメント

中低層の街並みが広がり、居住施設と商業施設が程よく混合し、デザイン意識の高い表参道一帯のエリアの中での集合住宅の計画である。街路を挟んで対峙する中層の商業施設を意識して、ファサードの高さや分節に配慮し、みどりを程よく配置している。自己主張しがちなこの地域の中で、デザインは控えめにし、対峙する建物と共に一体感のある街並みづくりに挑戦している点が高く評価された。

港区みどりの街づくり賞受賞施設

ラフォンテ
麻布十番

- 所有者: 銀泉株式会社
- 設計者: 株式会社日建ハウジングシステム
- 施工者: 株式会社熊谷組
植栽工事: 株式会社佐藤農園
- 所在地: 東麻布三丁目5番7号
- 施設用途: 共同住宅
- 敷地面積: 912.91㎡
- 緑化面積: 164.43㎡
- 緑化面積率: 18%
- 接道部緑化延長: 42.31m
- 接道部緑化率: 68%



選定にあたっての評価コメント

周辺は接道部に緑化があまり見られない地域で、この建物自体も緑化義務があったわけではないが、「街に、緑のネットワークを創出する」というコンセプトが確実に表現されている。「賃貸マンションという不利なプロジェクトでも、地域の緑化に貢献できることは無いかと考えた」ことを多めに評価したい。もう少し欲を出して、駐車スペース、境界部の壁面に緑化があればずっと効果的に見えただろう。

港区みどりの街づくり賞 審査会委員総評



千葉大学名誉教授
赤坂 信

「街角をより魅力的にする配植を考えよう」

街を歩く人たちが享受できるみどりを備えた建物が連担することで、みどりの街づくりが完成する。道行く人が幸せな気持ちになることが大切だ。ただ緑量が多いだけでは、地区への貢献度は測れない。植栽する際の樹種の選定のみならず、配植にも工夫が必要となる。今回、選定されたものに図書館機能をもつものがあった。もとより公開性の高いものだが、そのアプローチは2度クランクして建物入口に至る。面積的にそれほど広くはないが、そこに植栽された木々を十分見ながら、「知」の入口に立つようになっている。街への調和を目指し、植栽が建物沿いに列植されるケースが多いが、その際に建物からの視線を遮る役割が強調されがちだ。稠密な地区ではやむを得ない場合もあるが、配植の工夫で、植栽樹木をむしろ見せることを考えることも必要ではないだろうか。狭い敷地でも街角に植栽された木立は、その一帯をより魅力的にしている。これが配植デザインの妙だろう。



公益社団法人観音崎
自然博物館 前理事長
技術士(都市計画)
高橋 雅雄

「緑化のきめ手は管理作業にあり」

都市の緑化が叫ばれるようになってから可成りの年月が経過し、今日では誰もが敢えて叫ばなくても開発に伴う緑化は至極当然の行為として認識される時代となりました。植栽行為には、木や草を植える行為とそれらを育成する管理作業の良否とが真の緑化事業のきめ手になることを肝に銘じなければならない。林業の用語に“撫育”という言葉があります。“植物をかわいがって育てる”という意味と思うが、都市に生活するわれわれには、この撫育の心が求められていると思います。時の経過とともに、よき管理により植物は常に生き生きとした姿を見せてくれます。古きよき時代と言われる路地裏に並べられた鉢植え植物もその一例かと思えます。このことは地域生活者の相互理解・親睦の一助ともなっていることでしょう。要するに都会の生活者一人一人が緑を通じ、四季の景観の移ろい、生物多様性への関心、生命力の不思議さ、命ある者への愛などなど日々の生活の中で生きる喜びをかみしめる空間づくりに微力を捧げたいと念じています。



港区景観アドバイザー
株式会社佐藤尚巳
建築研究所 代表取締役
佐藤 尚巳

「魅力的な街づくりとは」

みどりを巧みに使いこなし街に貢献している計画を表彰する制度として平成16年度に創設をされた賞であるが、今年度は15年目の節目に当たる。事務局の事前審査により予め7物件に絞られ、現地視察を経て最終審査となった。港区の特徴として毎年必ず大規模物件が候補に上がる。当然ながら広場空地があり緑量も豊富なので、小規模物件とは比べものにならない優位性があり受賞する機会が多い。今年度もそのような物件が候補に上がっていたが現地視察をして落胆した。広場や緑は開放されてはいるが、進入者を拒む防御的な姿勢が見てとれ、周辺街並との融和性が全く感じられず、内向的で自己中心的な構成なのである。都心の再開発物件で周辺街区と協調しながら都市環境の魅力向上を目指すとうしない姿勢には大きな疑問が残った。逆に受賞した物件は、限られた空地の中で工夫しながら周辺環境の魅力向上に少しでも寄与しようという姿勢が読み取れ、好感が持たれた。



港区景観審議会委員
日本大学短期大学部建築・
生活デザイン学科 准教授
有限会社GAヤマザキ 取締役
山崎 誠子

「緑があれば七難隠す」

港区は緑化の維持にはお金がかかります。地代が高い、手間が高い。それでもなお、緑化することに意義を感じているオーナーの考えを審査員のだれもが汲み取りたいと思っているはず。今回の受賞されたものは特にそれを強く感じたものです。緑化することでその建物、その街の魅力が上がることをわかっている。実際、受賞したもののから緑を削除してみてください。なんてことないとは言わないですが、どこでもありそうなものが多いと思います。「色の白いは七難隠す」ということわざがありますが、緑があればそこそ難をかくしてくれると私の経験上、はっきり言えます。幅20cm、長さ1mの緑地があれば落葉しない常緑のツル植物や地被類が3〜5株植えることができます。コストダウンをされた外装になりそうならぜひ緑化してみてください。緑地の幅がもっとあれば落葉や低木、中木、高木を混ぜていきましょう。今までの受賞作品がお手本です。ぜひ試して下さい。

景観街づくり賞受賞施設

住友不動産六本木グランドタワー
六本木グランドタワーレジデンス
六本木グランドプラザ

- 事業主:六本木三丁目東地区市街地再開発組合
- 設計者:株式会社 日建設計
- 施工:大成・大林建設共同企業体
- 所在地:六本木三丁目2番1号他
- 施設用途:業務・住宅・店舗・駐車場 ●敷地面積:19203.7㎡
- 高さ:230.76m



審査委員コメント

Commillie comments

- ① 大規模開発ながら隣接の泉ガーデン街区とのデザイン面での関連、江戸時代から続く「なだれ坂」の整備、グランドタワーとレジデンスを囲む緑の層の厚さ、地形・起伏を活かしたランドスケープなど周辺への配慮も評価され、景観街づくり賞となった。特に六本木通り沿いの低層のグランドプラザは、もとよりこの地で親しまれていた店舗が営業を続け、また各層に小規模の店舗と専用の前庭をつつらえるなど、人の身丈と目線にあったつくりで安心感をおぼえる。
- ② 大規模開発の特性を生かし、地形の起伏を持たせた変化のあるシークエンスを創り多様な屋外環境の表情が創られ地域に新たな環境を提供している。美しいガラスの建物の周囲は圧倒的な緑量で近景の建物の圧迫感を軽減し、足元の植物は多様な品種を使い季節感を演出している。また、桜並木の外周道路など地域の安心・安全なインフラ整備にも寄与していることも評価できる。しかし、公開空地にヒューマンなスケールの空間があれば、もっと親しみある環境となったであろう。

景観街づくり賞受賞施設

DLXビルディング

- 事業主:株式会社 同和ライン
- 設計者:株式会社 三菱地所設計
- 施工:株式会社 安藤・間
- 所在地:西新橋一丁目13番9号
- 施設用途:事務所 ●敷地面積:757.13㎡
- 高さ:49.7m



審査委員コメント

Commillie comments

- ① 船舶を意識したというけれども、全盛期のポストモダン建築がみせた饒舌さとは一線を画している。構造や設備面で合理性を追求していることや、曲面をもちいた壁面の張り、時間と手間をかけたに違いないその仕上げなどが功を奏して、オフィス街に個性的だが嫌みのない表情をもたらすこととなった。ただ、エントランスはやや閉鎖的な印象がある。エントランスホールの活用方法によっては、この建物はもっと人々に愛されるランドマークになるだろう。
- ② オフィスビルが多い立地において、周辺の街並みに溶け込んでおり、同和ラインの船のイメージを大切にするなど独自性を確保した点を評価しました。外見は丸みを帯びていてコンパクトな印象を受けますが、注意して見ると細かな配慮や工夫がされていることに驚かされます。個性的なエントランスは、時として遊び心も感じさせるような空間になっているので将来的に地域社会とより積極的なつながりを持ったまちの魅力の向上に貢献していくことを期待します。

景観街づくり奨励賞受賞施設 日本酒造虎ノ門ビル /NS虎ノ門ビル

- 事業主: 一般財団法人櫻田會、飯野海運株式会社、日本酒造組合中央会
- 設計者: 大成建設株式会社一級建築士事務所
- 施工: 大成建設株式会社 東京支店 ●所在地: 西新橋一丁目6番15号
- 施設用途: 事務所・店舗・駐車場 ●敷地面積: 1107.09㎡
- 高さ: 51.89m



審査委員コメント

Committee comments

- 1 虎ノ門のオフィス街にさりげないけれど表情豊かなビルができた。ガラスの角度の違いで周辺の映込みや光の変化がおこり、街路樹に吹風を感じさせるようである。この角度の違いは自然換気装置にもなっているようだ。北側の道にも面しており、そちらに日本酒の紹介施設を配し、タワーパークの壁面に緑化を施すなど、人の回遊を意識した計画で、正面の酒林とも相まって、冷たくなりがちなビジネス街に潤いの場所を提供してくれている。
- 2 角度を変えた2色のガラスが光る美しいファサードの建築である。周囲の建物と素材が違うが地域に溶け込み、違和感はない。地域の先導的な景観建物になることと思う。外堀通りの街路樹のイメージを建築のファサード景観に取り込み、対岸からの景観にも配慮されている。しかし、残念なことは街路樹の緑に頼りすぎたのか、エントランスの樹木が貧弱である。街路樹の緑に呼応する品格とボリュームのある緑が欲しいものである。

景観街づくり奨励賞受賞施設 THE HARBOUR SHIBAURA

- 事業主: サンフロンティア不動産株式会社
- 設計者: 総合企画: サンフロンティア不動産株式会社
企画・コンサルティング: 株式会社リビタ
ブランディング・トータルデザイン: 株式会社アンドロップ
- 施工者: 三井不動産リフォーム株式会社
- 所在地: 芝浦四丁目5番9号 ●施設用途: 共同住宅・事務所・店舗
- 敷地面積: 306.56㎡ ●高さ: 26m



審査委員コメント

Committee comments

- 1 水辺の魅力向上のための産官学及び地域住民と協業した活動を下敷きにして、運河沿いの賑わい拠点づくりを意識したことが伝わってくる。「裏」になりやすい運河沿いで、大規模開発ではなく個々の計画でも魅力的な水辺づくりができるという前例となり、今後このような水辺計画が増えることが期待される。落ち着いた外装色でまとめ、看板や自動販売機にも留意して、テナントのフラッグも通常より抑えた色調で調和しているのが微笑ましい。
- 2 民間事業者、地方自治体、地元大学との連携を通じた地域活動により、築40年の古いビルの再生が実現しました。このことで港区芝浦港南エリアの資源である、運河沿いの水辺空間に回遊性をプラスしてオフィスワーカーや近隣住民の憩いの場としての賑わいを創出できました。敷地内に自由通路を設け階段状のベンチを新設、イタリアンレストランの併設の試みにより「運河のあるまち」としての芝浦の地域活性化の足がかりになっています。賑わいのある地域交流の場を増やすために、運河沿いの古いビルの有効活用を考えて、よりよい「運河景観」の形式に対して積極的な取り組みを今後も期待します。



▲AFTER



▲BEFORE



▲BEFORE

▲AFTER

H30年景観街づくり賞 特別賞

港区アドプト・プログラム登録団体 (活動継続5年を経過した団体) /

港区アドプト・プログラムは、地域の方々が道路・公園の維持管理を自主的に行う活動です (区と協定を締結)。継続的な活動が身近な景観街づくりに大きく貢献していることから、区から感謝の意を込めて表彰します。

活動継続5年を経過 (H29年度末現在) した
アドプト・プログラム登録団体

実施団体	場所種別	活動内容
1 岩田地崎建設株式会社 東京支店	道路	清掃
2 NTT.comラグビー部シャイニングアークス	道路	清掃
3 L・Lみなと	公園	草花植付
4 Live Life in 港	公園	花壇管理
5 大島栄子	公園	花壇管理



アドプト・プログラム問合せ

アドプト・プログラムについて
各地区総合支所まちづくり課土木担当

各地区電話番号	
芝 地 区	03-3578-2032
麻 布 地 区	03-5114-8803
赤 坂 地 区	03-5413-7015
高 輪 地 区	03-5422-7941
芝浦港南地区	03-6400-0032

区民景観セレクショングランプリ 台場とその周辺

テーマ：歴史・文化



選定にあたっての評価コメント

幕末に外国艦隊を迎撃する砲台として築造された台場は、こんにち、二つを残して姿を消した。その二つは史跡となり、第三台場は台場公園に、第六台場が「孤島」として野鳥の楽園となっている。日本の近代化の黎明期の遺産の周囲は、13号埋立地やレインボーブリッジなど現代的な建造物が特異な景観を生み出しており、台場との対比が得がたい魅力となっている。

応募者からの推薦コメント

ペリー来航後の江戸時代にできた構造物。江戸時代によくつくったなと感心する。(匿名)

区民景観セレクショングランプリ 明治神宮外苑の イチョウ並木

テーマ：通り



選定にあたっての評価コメント

芽吹き、緑陰、黄葉と季節ごとの姿で楽しませてくれる神宮外苑のイチョウ並木は樹齢100年を重ね、人の手で剪定されて絵画館までの姿が整えられています。眺めてよし、歩いてよし、たたずんでよし。人がいるのもよし、誰もいない静寂もよし、朝もよし、夜景もよし。この東京一、いや日本一の並木景観が港区にあるのは大きなよこびです。

応募者からの推薦コメント

言わずと知れた、外苑のイチョウの並木です。日中の青空とのコントラストも素敵ですが、夕暮れ時の藍色の空とのコントラストもとても好きです。

応募者氏名 寺嶋 綾香 (区内在住)

区民景観セレクション 烏森神社の参道

テーマ：歴史・文化



選定にあたっての評価コメント

鳥居をくぐり本殿へ続く道は見上げるとビル、ふと視線を落とすと神社への参拝者の往来ですり減った小さな道。両側には参拝の御休み処の店。この短い参道に長い歴史と文化がある。「よくぞ残ってくれた」と特別な感覚をいただく景観である。

応募者からの推薦コメント

烏森神社周辺は、サラリーマンの聖地と呼ばれる新橋の中でも、烏森花街の景色を色濃く残す、独特な境界空間が形成されています。近代日本の歴史と文化を身近に感じることができる魅力ある景観というのが推薦理由です。(匿名)

区民景観セレクション 白金二丁目の 樹木とお蔵のある 邸宅の境界

テーマ：歴史・文化



選定にあたっての評価コメント

多様な歴史を持つ港区が著しく都市化が進んだ後もこのような身近な所に歴史の移ろいを感じさせる場所があることを発見されたことは、すばらしく思います。こちらの邸宅の境界には、個性的な住宅や緑もあって散歩したくなるような景観でもあります。次世代にも受け継がれていってほしいと思います。

応募者からの推薦コメント

広い敷地に手入れのされた庭木と漆喰壁のお蔵をもつ昔ながらの風情の木造住宅がある一角。かつては港区にもこのような余裕のある敷地、庭木、お蔵がセットの木造住宅があったのだろうか…と彷彿させる境界です。(匿名)

区民景観セレクション けやき坂の イルミネーション

テーマ：通り



選定にあたっての評価コメント

開業15年を経た六本木ヒルズはケヤキ並木もすっかり東京の名所のひとつに定着。11月初旬から2月中旬までの冬限定のイルミネーションは毎年最先端のセンスで、中央に東京タワーを据えたこの眺めは他を寄せ付けない美しさ。

応募者からの推薦コメント

冬ならではの澄んだ空気に映えるイルミネーション。青や白の電飾が多い中、六本木ヒルズは赤一色。暗闇に忽然と立つ東京タワーに、花を添えているように見えます。

応募者氏名 寺嶋 綾香 (区内在住)

※赤色のイルミネーションは、平成30年度は実施されません。

区民景観セレクション 竹芝棧橋の ボードウォーク

テーマ：水辺



選定にあたっての評価コメント

竹芝棧橋方面に向かう道すがら、行き交う船の乗降客からは彼らの高揚感が伝わってくる。ボードウォークからは沖合の海の様子などが心に浮かぶ。ライブなど港の景色を楽しめる機会も増え、今後がさらに楽しみである。

応募者からの推薦コメント

- 都会にあつて最も身近な大自然でもある海に、もっと親しみませんか。ベンチに座り海を眺めていると、水上バスや荷物を運ぶ船、レインボーブリッジ下を通過する大型船がゆったりと、しかし絶え間なく、通り過ぎていきます。また、航空機が高度を下げながら、次々と羽田空港に向かってターンしていく姿を見ることができます。(匿名)
- 山手線から徒歩10分以内で水辺の最高の景観を楽しめます。(匿名)

区民景観セレクション 神明坂から見る 石垣と東京タワー

テーマ：街かど



選定にあたっての評価コメント

創建1005年と伝わる元神明宮沿いの坂で江戸名所図会にも描かれている場所である。歴史を感じさせる石垣の向こうに東京タワーが見えてくる。坂のまち港区ならではの新旧混在の魅力が伝わってくる。

応募者からの推薦コメント

- 一瞬の歴史、重層。おそらく区内で一番古い石垣だと想像します。(江戸の挿絵にもあります)が、更に古いでしょう。それと東京タワー(夜景!!)時代差No.1のコラボです。歩いて一瞬のポイントが希少。
- 応募者氏名 和田 健一郎(区内在住)



区民景観セレクション 新芝運河に面した オープンテラス

テーマ：水辺



選定にあたっての評価コメント

戦前まで、東京は、水運が盛んな江戸以来の「水の都」だった。戦後、首都が交通の基軸を陸上に転換すると、街は水面に背を向けはじめた。今日、水運の復活に向けた様々な取り組みもあって、街は少しずつ水面を意識しだした。この景観はその象徴といえよう。

応募者からの推薦コメント

- 街と人と運河を繋げる憩いの場が誕生
応募者氏名 内村 雅都(区内在住)
- 芝浦エリアの資源である、「水辺」の新しい風景を創造
応募者氏名 大本 裕一(区内在住)
- 水辺と人を繋ぐ新しいコミュニケーションスポット
応募者氏名 加藤 裕史(区内在住)
- 運河に開かれたオープンテラスがお洒落
応募者氏名 丸山 孝典(区内在住)



区民景観セレクション 保安寺の参道

テーマ：街かど



選定にあたっての評価コメント

保安寺への参道は登りでなく、下りの石段である。石段の両側は歴史景観のある素敵な民家、そしてシュロ並木。それはヤシのようにも見え、お寺への参道だが異国情緒も感じる道。まるで映画の1シーンのような街かど風景。

応募者からの推薦コメント

- 古くから残る寺社と、駅前ビル。開発が進む品川駅周辺で、古き品川を思い起こさせてくれる景観。(匿名)
- 高輪の高低差のある地形がユニークで、また人々の営みが育んだ緑が豊かで、さらに寺院や住宅、店舗など時代を重ねたまちならではの空気が好きです。(匿名)

区民景観セレクション レインボブリッジ から見るお台場方面

テーマ：水辺



選定にあたっての評価コメント

応募コメント「初日の出に照らされた穏やかな海」は、季節それぞれに空や雲、お台場、両側の都市景観、そして行き交う船との共演が見事です。港区にはこんな素敵な海がある!誇らしくいつまでも眺めていたい景観です。

応募者からの推薦コメント

- 初日の出に照らされた穏やかな海
応募者氏名 丸山 孝典(区内在住)

区民景観セレクション 旧台徳院霊廟惣門と 東京タワー

テーマ：ランドマーク



選定にあたっての評価コメント

港区を代表するこれらの建造物は門の朱色と東京タワーの赤色が時代を超えてコラボレーションしているかのようです。建造物の周囲の木々や空の色は季節の移ろいとともに変化するので、建造物と周囲の景観と一緒に楽しんでいただけたらと思います。港区のシティハーフマラソンや東京オリンピック競技大会においても、当該地を通るので多くの人々に是非見てほしいと思います。

応募者からの推薦コメント

- 抜けるような青空と東京タワーを見守る、朱色の門。紅葉の時期は東京タワーの真下も、赤や黄色に彩られとても美しい景観となります。そして、その景観をフォトフレームの様に囲って立つ門。いつも必ず足を止めて見入ってしまう景色です。
応募者氏名 寺嶋 綾香(区内在住)



景観街づくり賞 審査会委員総評

今年度、港区景観アドバイザーによって推薦された選定候補案件は5件。そのうち、景観街づくり賞・同奨励賞が2件ずつ選定されました。まず、大規模プロジェクトの1件は、土地の大きな高低差をうまく活用して超高層建築物の威圧感を和らげるだけでなく、魅力的なエクステリアを創出しているなど総合力が評価されました。残る3件は建築単体ですが、それが街並に与える効果にみるべきものがあるといえましょう。素っ気ないファサードが連なりがちなオフィス街ですが、1件は個性的だが抑制の利いたファサードを、もう1件は楚々とした品格あるファサードをいずれも丁寧に仕上げて街並に花を添えました。他の1件は、建物のほとんどが運河に背を向けている中で、運河側を向いたファサードとアクティビティを創出し、隣接建物への波及が期待されるとして選に入りました。関係各位の努力の賜物だと思います。

今回はビジネス街、住宅街、水辺、坂のまち、といった港区らしい景観をさらに充実させる事例が揃いました。地形や地の利をもっと魅力的に活用しようという積極的な取り組みが好印象でした。パッと見える正面を配慮しただけということではなく、「裏」も活気ができるように、また「裏や脇の空間」も使いこなせるようにといった計画が多く、「景観」の配慮がきめ細かくなっているようで嬉しく感じます。周囲への配慮、近隣住民への気遣い、新しいまちの表情づくりの提案などさりげなく行っている様子が伝わってきて、「景観」を考えることは人への気遣いにつながるのだと改めて感じます。きれいに見える、洗練されているといった目標だけでなく「まちづかい」が楽しくなるような景観の計画が増えることが予感され、今後への期待が高まりました。

今回、各賞を受賞した建物はそれぞれに個性があるにも関わらず、周辺の街並みに溶け込んでおり、さらには機能的な工夫がなされている点に驚かされました。また、通りを歩いている人の目を楽しませたり、ふらっと立ち寄ってみたいくなるような印象を受けました。さらに歩道上空地の確保など歩行者に対する配慮と同時に、建物の周囲のスッキリ感に好感が持て、また緑化を出来る限り多く取り入れようとする姿勢も伺えました。港区が求める基準がしっかりと形で反映されている印象を受けました。企業と港区と地域の連携が好感の持てる都市の景観づくりの役割に対して、うまく機能していると思いました。都市景観はオフィスワーカーや住民の交流や憩いの場所づくりに大変に重要な役割を担っているため、地域社会の活性化を念頭において、今後も検討していく必要があると思いました。

今年度の景観まちづくり賞、奨励賞の4作品の規模は様々、建築意匠も多彩で個性的な建物もあり、多くの開発が進む港区の景観状況が垣間見えるようです。賞は計画規模の大きさでなく、新たな建物や環境がいかに地域に貢献しているかが問われるものです。小さな建物や環境でも地域の中での役割を的確に捉えられていれば、地域価値が上がる新たな景観要素の創出です。面的開発の場合は建築だけでなく、そのオープンスペースも地域の景観、環境価値の形成に影響を与えるものです。そこには緑や憩いの空間が必要です。その設えは地域の人々が安心でき、やさしさを感じられる空間で、そこでは、人・自然・人工物が入り混じり、親しみの景観が醸成できる設えをして欲しいものです。人々が介在する、優しい景観が地域の環境価値の向上につながるものと考えます。

候補には大規模な街区形成、中規模ビル、小さなビル改修と揃い、それぞれの良さを見ることができた。景観は建物ひとつで形成されるものではなく、周囲とのつながりで生まれる。それはどの規模でも同じで、近景・遠景とも「共に良いまちをつくらう」という発想と工夫とその実現で創出される。街づくり賞となった六本木グランドタワー一帯はオフィス棟と住宅棟のボリュームやデザインの対比にもう少し配慮があつてよいかと意見が割れたが、周辺地域への馴染ませ方や低層部の細やかさが功を奏した。一方、DLXビルは建物の断熱性能や雨だれ対策などを取り込んでランドマーク的にデザインされていて、このまちでうまく年季を重ねるであろうと期待される。奨励賞の運河沿いビルのリニューアルは「運河に開くこと」「通り抜け」がかなえられた好例で周辺にも波及することを期待しています。

港区景観審議会会長
東京工業大学大学院
社会理工学研究所 教授

齋藤 潮



港区景観審議会副会長
株式会社日本カラー
デザイン研究所
シニアコンサルタント

杉山 朗子



港区景観審議会
区民委員

小倉 敬子



港区景観アドバイザー
株式会社戸田芳樹風景
計画 取締役 設計室長

大橋 尚美



港区景観アドバイザー
藤野アトリエ
一級建築士事務所 主宰

藤野 珠枝



区民景観セレクション 審査会委員総評

昨年度からスタートした区民景観セレクションですが、今年度の応募件数は同一箇所の重複も含めて80件を超えました。書類による予備選定と、実見の要望が委員から出された数箇所の視察を経て議論を重ね、最終的に11件が選に入りました。区を代表すると誰もが認めるような堂々たる景観から、こんな佇まいが区のコんなところにあるというような魅惑的な景観まで、バリエーションはまことに豊かです。区民景観セレクションならではの成果だと思います。

様々な視点の候補があがり、選定の議論は伯仲したといってよいでしょう。見学に回った際には、こんな場所があるのかとホッとしたりワクワクしたり、感心しきりでした。まちには地形があり、歴史があり、生活があり、そこならではの景観を育んでいるのだと実感します。代表的で外せない景観がある一方、近所に住む人だからこそ知っている、とっておきの景観、この両面を取り上げられるのがこのセレクションの良いところかと思っています。

今回の応募作品数は前回は上回り、区民景観セレクションの関心の深さを伺えました。メインテーマ部門は「昔ながらの雰囲気や寺町の風情など味わい深い歴史・文化を感じる景観」でしたが、作品からは港区には改めて身近な所に歴史や文化が地域とともに息づいていると思いました。見慣れた景観も見方を変えれば新たな発見があり、応募作品を興味深く拝見させていただきました。今後は、より多くの幅広い年齢層の積極的な参加を期待します。

昨年に比べ多くの応募作品があったことは、区民の方々の景観への関心の高揚の成果だと思います。メインテーマ「歴史・文化」は様々な視点で捉えられた良好な景観が応募され、これからも大切に育てたい景観やこの機会に皆様に周知戴き、今後皆で保全の仕方を考える場所など、課題的景観も見られ、大変興味深いものがありました。また水辺の様々な場所、時間による景観変化の面白さを表現したのも多く、港区ならではの景観特性が見られました。

大規模再開発が数多く行われている港区では日々新しい景観が出現しています。一瞬で「わあキレイ!」と心をつかむ景観もあるでしょうが、開業から15年の六本木ヒルズ・けやき坂の景観が寄せられ、馴染みとなるための時間とそう感じる要因を考えさせられました。また長年見慣れた愛着ある眺めでも、道路への置き看板や運河での不法係留など違法の可能性のある景観は選ぶことができないことが残念で、何を変えていけばいいのか考えています。